

感は悪くない。7～9月売上げは前年比50%減少を見込む。(横須賀・北部地区)

〔不動産売買業〕

4～6月売上げは前年比横這い。仕入は慎重に行っており売上げ増加はあまり期待できない状況だが、昨年仕入れた物件を今期売却し売上げ計上につなげていく。商品在庫の売却が見込める時期であり7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横須賀・南部地区)

【製造業】

〔水産練製品製造業〕

4～6月売上げは前年比横這い。感染症の位置づけが5月に引き下げられたことで観光客が増加し売上げも順調だったが、ゴールデンウィークは雨の影響もあり想定していたより下回った。今後はより日常的に購入してもらえようというイメージも検討している。観光客は増加傾向にあり、7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(鎌倉地区)

〔ゴム製品加工業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。コロナ禍が落ちつき例年通りの受注量が確保できた。過去には商談の延期や、商談成立寸前で立ち消えとなることもあったが、最近はそのようなこともなくなった。原材料高騰もあり利益確保ができていない。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(鎌倉地区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。休日の集客はコロナ禍前と同水準、ゴールデンウィークの売上げは過去最高となった。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(鎌倉地区)

小売業はプラス46(プラス18)、不動産業はプラス45(プラス56)、サービス業はプラス60(プラス38)となった。()内同。

〔建設業〕

〔屋根工事業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。受注はあるものの人員不足により作業効率が悪かった。求人募集では現場監督は一定の応募があるものの、職人は人手不足で年々少なくなっている。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。例年梅雨の影響で工期がずれ込むことや、台風の影響による受注増加等売上げは増加傾向。受注に対応する人員確保が

【建設業】

課題。(鎌倉地区)

〔建設業〕

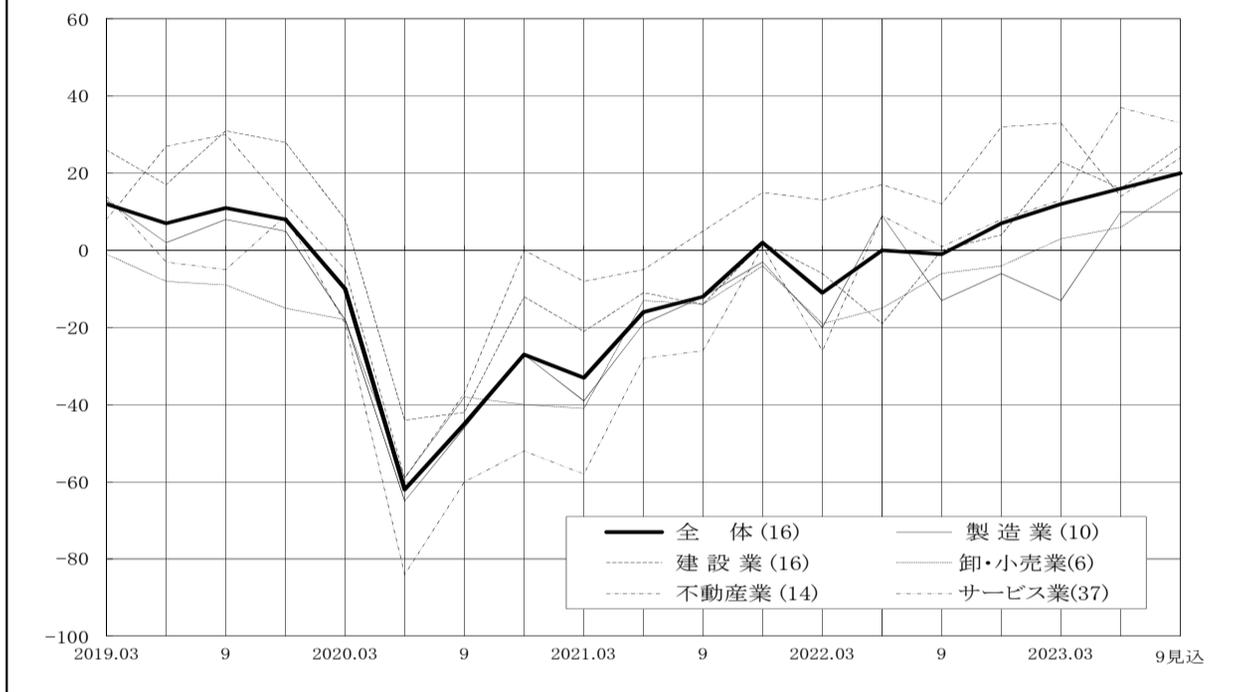
4～6月売上げは前年比30%増加。以前と変わらず、戸建の新築工事は減少傾向であるも戸建・中古マンションのリフォーム工事は順調に受注。大手不動産業者から再販事業に伴うリフォーム・リノベーション工事も安定して受注。資材高騰の影響が深刻化しているが、仕入価格がこれまでより30～40%程度増加しているが、工事価格へ転嫁して

〔湘南地区〕(逗子、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎、寒川、平塚)

業況判断指数は全体でプラス42(プラス25)で前回調査から17ポイント改善した。製造業はプラスマイナス0(マイナス18)、建設業はプラス60(プラス30)、卸・

原材料価格の高騰を受けてランチの値上げを近日実施。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横須賀・南部地区)

中小企業短期景気観測調査



横這い。コロナ禍の規制が緩和し、イベントが少しずつ再開し始めている。しかし、全体のイベント数は減少している。そのためイベントでの大量受注は減ったが個人客による店舗購入が増加した。7～9月売上げは前年比横這いを見込む。夏に向け、季節の果物を使ったデザート商品の導入を検討している。(寒川地区)

〔スーパーマーケット業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。感染症に関する制限がなくなった分、外食へ流れている傾向がみられる。一度来なくなった高齢者を中心とした客層の戻りが遅い。経費面では電気代や仕入価格の高騰により出費が増えている。近隣スーパーやネットスーパーとの価格競争もあり7～9月売上げは前年比5%減少を見込む。(藤沢地区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比20%増加。コロナ禍の規制緩和が進み前年よりも来客増加。現在は予約客で溢れ、フリー客が入れないほどの繁盛。特に団体客の予約が増え、売上げが伸びる要因になっている。7～9月売上げは前年比20%増加を見込む。(鎌倉地区)

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比15%増加。新型コロナの位置付けが5月に引き下げられたことにより来店客数は増加、居酒屋での売上げが伸びている。また、家庭需要も依然として旺盛であり焼き鳥のテイクアウトも堅調に推移。7～9月売上げは前年比20%増加を見込む。(逗子地区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。インバウンドによる外国人観光客の増加が要因。実際に外国人観光客が売上げの50%を占めるほどになっている。今後も外国人観光客の増加が見込まれることから、7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(鎌倉地区)

〔土木工事業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。コロナ禍の影響が落ち着き宅地造成工事の受注は安定しているが、原材料費高騰が長引き利益率が大幅に減少している。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横浜・南区)

【卸・小売業】

〔食肉卸小売業〕

4～6月売上げは前年比横這い。輸入食肉仕入値が上昇しており、卸と小売りに共に販売価格を値上げしている。卸先や店頭販売でも値上げに対して顧客に慣れが出つつある。7～9月売上げは前年比横這いを見込む。(横浜・中区)

〔婦人服小売・卸業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。コロナ禍以降売上げ減少し事業縮小傾向。その影響は落ち着いてきたものの、既存客がネット通販にシフトし店舗売上げは減少。7～9月売上げは前年比5%減少を見込む。落ち込み分をカバーするためパート従業員に積極的に参加しているもののスポット的な売上げにしかならず、苦しい状況が続く。(東京・品川区)

【不動産業】

〔不動産仲介・売買業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。販売・仲介共に住宅ローン利用希望者への販売が好調。共働きで世帯所得100万円以上の顧客が多く、審査は通りやすい。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。湘南エリアの価格帯は徐々に落ち着きが見られるが、まだまだ人気のエリアであり需要は高い。(藤沢地区)

【卸・小売業】

〔不動産仲介・売買業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。コロナ禍の影響が落ち着き宅地造成工事の受注は安定しているが、原材料費高騰が長引き利益率が大幅に減少している。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横浜・南区)

【建設業】

〔土木工事業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。コロナ禍の影響が落ち着き宅地造成工事の受注は安定しているが、原材料費高騰が長引き利益率が大幅に減少している。7～9月売上げは前年比10%増加を見込む。(横浜・南区)

20%増加。工期延長することなく、受注も増加。人件費高騰していることから海外実習生を雇用するなど対応。大手デベロッパのマンションやビルの大型工事受注を予定しており、7～9月売上げは前年比20%増加を見込む。(横浜・鶴見区)

【製造業】

〔窯業土石製品製造業〕

4～6月売上げは前年比5%増加。原油価格の高騰に伴い原材料費は増加。販売価格の値上げを行ったため、売上げは前年同月よりも上回る。7～9月売上げは対前年比10%増加を見込む。(横浜・保土ヶ谷区)

〔部品加工業〕

4～6月売上げは前年比10%増加。少量多種の精密機械部品の製造、加工を主に業とし、コロナ禍収束に伴い加工関係の注文が増加。今後は部品価格の高騰に対応しながら受注先の取引単価の交渉を行っていく。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(横浜・磯子区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。受注状況は例年と比較しても減少傾向。7～9月売上げは前年比5%減少を見込む。2月以降親会社が生産スピードを落としているため、大きく影響が出ている。親会社次第で受注量の増減が発生するたため先行き不透明。(横浜・神奈川区)

【建設業】

〔炊飯米販売業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。イベントや催事等の規制が緩和されたことで業況回復、受注は炊飯キヤパシテイを超える日も多い。7～9月売上げは前年比35%増加を見込む。イベント再開で受注は右肩上がりであるが当日の天候で大きく左右され、また一日の炊飯量は600kgが限界であり、この課題を解決しない

【卸・小売業】

〔食肉卸小売業〕

4～6月売上げは前年比横這い。輸入食肉仕入値が上昇しており、卸と小売りに共に販売価格を値上げしている。卸先や店頭販売でも値上げに対して顧客に慣れが出つつある。7～9月売上げは前年比横這いを見込む。(横浜・西区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比80%増加。昨年の同時期は店舗休業を余儀なくされていたため、その反動で売上げ大幅増加。7～9月売上げは前年比130%増加を見込む。休業期間との比較のため大幅回復を予想。(横浜・磯子区)

【サービス業】

〔炊飯米販売業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。イベントや催事等の規制が緩和されたことで業況回復、受注は炊飯キヤパシテイを超える日も多い。7～9月売上げは前年比35%増加を見込む。イベント再開で受注は右肩上がりであるが当日の天候で大きく左右され、また一日の炊飯量は600kgが限界であり、この課題を解決しない

と売上げも伸びていかな。(横浜・神奈川区)

【不動産業】

〔不動産売買業〕

4～6月売上げは前年比5%減少。不動産価格の高止まり傾向が続き、エンドユーザーの手が届きづらい物件や住宅ローンの不承認が多く見受けられる。しかし、大手企業による仕入が減少したことから仕入環境は改善傾向。7～9月売上げは前年比5%増加を見込む。(横浜・西区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。長期化していた在庫物件が立て続けに売却できた。不動産価格の高騰から仕入が鈍化しており在庫減少。今後は中古戸建やマンション等回転の早い物件を仕入して利益確保していく。7～9月売上げは前年比20%減少を見込む。(横浜・鶴見区)

【サービス業】

〔飲食業〕

4～6月売上げは前年比80%増加。昨年の同時期は店舗休業を余儀なくされていたため、その反動で売上げ大幅増加。7～9月売上げは前年比130%増加を見込む。休業期間との比較のため大幅回復を予想。(横浜・磯子区)

【サービス業】

〔炊飯米販売業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。イベントや催事等の規制が緩和されたことで業況回復、受注は炊飯キヤパシテイを超える日も多い。7～9月売上げは前年比35%増加を見込む。イベント再開で受注は右肩上がりであるが当日の天候で大きく左右され、また一日の炊飯量は600kgが限界であり、この課題を解決しない

【サービス業】

〔炊飯米販売業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。イベントや催事等の規制が緩和されたことで業況回復、受注は炊飯キヤパシテイを超える日も多い。7～9月売上げは前年比35%増加を見込む。イベント再開で受注は右肩上がりであるが当日の天候で大きく左右され、また一日の炊飯量は600kgが限界であり、この課題を解決しない

【サービス業】

〔炊飯米販売業〕

4～6月売上げは前年比30%増加。イベントや催事等の規制が緩和されたことで業況回復、受注は炊飯キヤパシテイを超える日も多い。7～9月売上げは前年比35%増加を見込む。イベント再開で受注は右肩上がりであるが当日の天候で大きく左右され、また一日の炊飯量は600kgが限界であり、この課題を解決しない